

『窓装飾プランナーBOOK』第5版<2024年4月15日発行> 主な修正箇所

章	頁	項目	内容	改訂後	改訂前
1章	10	図表 1-5 ウィンドートリートメントの市場規模(卸売ベース)	更新	(一般社団法人日本インテリアファブリックス協会が 2018 年 9 月に発表した最新情報に伴い、令和 2~4 年度の数値を掲載) →「図表 1-5 ウィンドートリートメントの市場規模」参照(本 PDF ファイル 6 ページ①)	(平成 29~30、令和 1~2 年度の数値を掲載)
3章	112	[1]窓の役割 本文 8 行目	内容追加	また、幼稚園、保育所、小学校、中学校、 高等学校 等の教室などは 5 分の 1 以上の面積が必要です。	また、幼稚園、保育所、小学校、中学校等の教室などは 5 分の 1 以上の面積が必要です。
	113	[1]窓の役割 本文 9~12 行目	変更	以前はアルミ製が主流でしたが、断熱性の高い樹脂製や複合サッシも多く見られるようになっていきます。また、内ガラスと外ガラスの間にブラインドを組み込んだブラインド内蔵サッシなどもあります。	主流はアルミ製ですが、断熱性の高い樹脂製や複合サッシも多く見られるようになりました。また、窓枠にブラインドを組み込んだブラインド内蔵サッシなどもあります。
	113 ほか	[1]窓の役割 1 開閉方法による分類 ①フィックス ほか	変更	FIX FIX 窓	フィックス フィックス窓
	114	[1]窓の役割 1 開閉方法による分類 ②引き	変更	引違い窓	引違い窓
	115	[1]窓の役割 1 開閉方法による分類 ③上げ下げ 上げ下げ窓	追加	ダブルハング(両上げ下げ窓) と呼ばれることもある。	ダブルハングと呼ばれることもある。
	115	[1]窓の役割 1 開閉方法による分類 ④開き 縦すべり出し窓	変更	たてすべり出し窓	縦すべり出し窓
	115	[1]窓の役割 1 開閉方法による分類 ④開き 両縦すべり出し窓	変更	両たてすべり出し窓	両縦すべり出し窓
	116	[1]窓の役割 1 開閉方法による分類 ⑤ルーバー ルーバー窓	変更	ガラスルーバー窓	ルーバー窓
	117	[1]窓の役割 1 開閉方法による分類 ⑦回転 縦軸回転窓	変更	たて軸回転窓	縦軸回転窓
	118	[1]窓の役割 2 窓装飾を行う上での分類 本文 5 行目	変更	また、「1 開閉方法による分類」に記載の④~⑧の窓種では窓が室外側や室内側に開くなどするため、こちらも注意が必要です。特殊な形状の窓も特別な対応が必要になります。	また、特殊な形状の窓も特別な対応が必要になります。
119	[1]窓の役割 2 窓装飾を行う上での分類 ③形状や装飾に特徴がある窓 グラスウォール	変更	カーテンウォール	グラスウォール	

章	頁	項目	内容	改訂後	改訂前
4 章	134	①プリーツを取ったカーテントップ ・ゴブレットプリーツ	変更	プリーツの上部に筒状の芯などを詰めて膨らみを持たせたスタイル。	プリーツの上部に綿などを詰めて膨らみを持たせたスタイル。
	134	②プリーツを取らないカーテントップ 本文	変更	プリーツを取らないカーテントップはシンプルな仕上げで、カジュアルなインテリアに合います。大柄のプリントもひだで隠れることなく楽しめます。	プリーツを取ったカーテントップに比べて、使用する生地量が少ないのがメリットです。気軽に掛けることができ、大柄のプリントなども楽しめます。カジュアルなインテリアに合うスタイルです。
	135	②プリーツを取らないカーテントップ ・ウェーブカーテン	変更	カーテン上部に取り付けたウェーブテープと専用のコード、または専用のカーテンレールを用いて、カーテントップにプリーツを取らずにフラットカーテンをウェーブ状に仕上げるスタイル。	カーテン上部に取り付けたウェーブテープと専用のコードで、ファブリックスを波状に掛けたスタイル。
	135	図表 4-27 ウェーブカーテン	変更	ウェーブカーテンの図変更 →「図表 4-27 ウェーブカーテン」参照(本 PDF ファイル 6 ページ②)	-
	139	④カーテンボタン 本文	追加	カーテンの開閉を行うための棒状の器具。吊り位置が高く丈の長いカーテンなどでは、カーテンボタンを使うことでカーテンの開閉が容易に行えます。カーテン生地に直接手が触れることがないため、生地を傷めにくい効果もあります。	カーテンの開閉を行うための棒状の器具。吊り位置が高く丈の長いカーテンなどでは、カーテンボタンを使うことでカーテンの開閉が容易に行えます。
	143	図表 4-56 シアーカーテンの特徴による分類 ボイル	変更	ポリエステルや綿を平織にした薄い織物。薄地で透過性があるのでシアーカーテンに多用される。色のバリエーションが多く、柄をプリントしたボイルプリントもある。	ポリエステルや綿を平織にした薄い織物。薄地で透過性があるのでシアーカーテンに多用される。色のバリエーションが多く、柄をプリントしたプリントボイルもある。
	143	図表 4-56 シアーカーテンの特徴による分類 オーガンジー	変更	極細の分繊糸を使った、極薄手で軽くハリのある平織の織物。しゃきとした手触りが特徴で、ボイルに比べてさらに透過性が高い。	極薄手で軽くハリのある平織の織物。しゃきとした手触りと透明感が特徴。ポリエステルや綿が主流だが、シルク、レーヨン、アセテートを素材としたものもある。
	143	図表 4-56 シアーカーテンの特徴による分類 プリントボイル	変更	ボイルプリント	プリントボイル
	150	1 装飾性カーテンレール 本文 7～10 行目	変更	最近では中が空洞になった金属ポールに木目調のシートなどをラッピングした軽量のレールも増えており、さまざまな質感や色のバリエーションがあります。室内の床や建具などの色に合わせて選ぶとインテリアの統一感が生まれます。	木製や木目調のものは、色彩的に明るいものから暗めのものまで色のバリエーションが豊富なので、室内の木部の色に合わせて選ぶとインテリアの統一感が生まれます。最近では、(後略)
	151	図表 4-74 機能性カーテンレールの分類 住宅向け機能性カーテンレール 電動レール	追加	電動モーターなどによってカーテンを開閉できるレール。リモコン、タイマー、スイッチ、センサーなどで操作する。また近年では、Wi-Fi 環境下においてスマートリモコンなどと組み合わせることで、窓まわりの電動製品もスマートスピーカー、スマートフォンなどで非接触、遠隔での操作が可能になっている。	電動モーターなどによってカーテンを開閉できるレール。リモコン、タイマー、スイッチ、センサーなどで操作する。
151	図表 4-74 機能性カーテンレールの分類 住宅向け機能性カーテンレール 電動レール	図追加	(図表内に電動レールの図追加) →「図表 4-74 機能性カーテンレールの分類 電動レール」参照(本 PDF ファイル 6 ページ③)	-	

章	頁	項目	内容	改訂後	改訂前
4 章	157	[4]ローマンシェードのスタイル 1 シングルタイプ ②シャープスタイル 本文 3～5 行目	一部 削除	「バーの入れ方には、裏面にテープを付ける方法や、生地をつまんで表側にラインをつくる方法などがあります。」の一文削除	-
	160	[8]ローマンシェードのメンテナンス 注釈追加	追加	※コードアジャスタ自体が分離することで、昇降コードをほどかずにシェードを取り外せるタイプもあります。昇降コードをほどかないため、取り付け時にシェードの水平を再調整する必要がなくなります。	-
	160	図表 4-90 シェードの取り外し	図 追加	(図表 4-90 内に「分離するタイプのコードアジャスタ」図追加) →「図表 4-90 シェードの取り外し」参照(本 PDF ファイル 6 ページ④)	-
	166	[2]調光式ロールスクリーン 1 調光式ロールスクリーンの特性 本文 1～5 行目	変更	調光式ロールスクリーンとは、シースルー部分と光を透過しにくい部分で構成されたスクリーンの重なりや構造によって採光を調整できるタイプのロールスクリーンです。ボーダー状に織られたスクリーンが前後に重なることで調光する 2 層式タイプと、立体構造のスクリーンを開閉することで調光する立体構造タイプの 2 種類があります。	調光式ロールスクリーンとは、スクリーンの重なりや構造によって採光を調整できるタイプのロールスクリーンです。ボーダー状の 2 枚のスクリーンの重なりで調光する 2 層式タイプと、立体構造のスクリーンを開閉することで調光する立体構造タイプの 2 種類があります。
	168	4 調光式ロールスクリーンの素材 本文 1～2 行目	変更	調光式ロールスクリーンのスクリーンは、シースルー部分と光を透過しにくい部分が組み合わされた生地で、(後略)	調光式ロールスクリーンのスクリーンは、光を透過する部分と透過しない部分が組み合わされた生地で、(後略)
	169	1 プリーツスクリーンの特性 本文 4 行目	削除	プリーツの巾は 25 mm が主流です。ただしプリーツ加工した(後略)	プリーツの巾は 25 mm が主流ですが、45 mm のものもあります。ただしプリーツ加工した(後略)
	169	1 プリーツスクリーンの特性 本文 8～15 行目	変更	プリーツスクリーンには、1 枚のスクリーンを吊すシングルタイプのほか、2 種類の異なる素材のスクリーンを上下に組み合わせたツインタイプ(ペアタイプ)、前後に組み合わせたツインタイプ(ダブルタイプ)があります。ツインタイプの場合、細やかな調光が行えるように、シースルーの生地と透過しにくい生地を組み合わせるのが一般的です。またシングルタイプには、上部と下部で自由に通風や採光ができるタイプ(アップダウンタイプ)もあります。	また、プリーツスクリーンには、1 枚のスクリーンを吊すシングルタイプのほか、2 種類の異なる素材のスクリーンを上下に組み合わせたツインタイプ(ペアタイプ)や、スクリーンが上下両方向にスライドする逆昇降タイプがあります。ツインタイプの場合、細やかな調光が行えるように、透過性のある生地と透過性のない生地を組み合わせるのが一般的です。逆昇降タイプは、スクリーンの位置を自在に変えられるので、外からの視線を遮りながら調光や換気が行えます。
	169	図表 4-104 プリーツスクリーン	図 追加	「ダブルタイプ」模式図、「アップダウンタイプ」図追加 →「図表 4-104 プリーツスクリーン」参照(本 PDF ファイル 7 ページ⑤)	-
	171	図表 4-108 プリーツスクリーンの操作方法 ループレス式(スマートコード式) 本文	追加	昇降、調光を 1 本のコード(グリップ)で操作する方式。操作コード(グリップ)を繰り返し引くことでスクリーンが上がり、下げるときはコード(グリップ)を軽く引くと適度な速度で降下する。ツインタイプの場合は、操作棒のグリップを回して昇降(ボトムレール操作)と調光(中間レール操作)を切り替える。グリップ下のコード止めを引いてスクリーンの昇降を行う。ループ状のコードやチェーンがないので、チャイルドセーフティーとしての安全性も兼ね備えている。	昇降、調光を 1 本のコード(グリップ)で操作する方式。操作コード(グリップ)を繰り返し引くことでスクリーンが上がり、下げるときはコード(グリップ)を軽く引くと適度な速度で降下する。ループ状のコードやチェーンがないので、チャイルドセーフティーとしての安全性も兼ね備えている。

章	頁	項目	内容	改訂後	改訂前
4章	171	図表 4-108 プリーツスクリーンの操作方法 ループレス式(スマートコード式) ツインタイプ図	図 変更	→「図表 4-108 プリーツスクリーンの操作方法」内、ループレス式(スマートコード式) ツインタイプ参照(本 PDF ファイル 7 ページ⑥)	-
	175	図表 4-113 ハニカムスクリーンの操作方法 ループレス式(スマートコード式)	変更	昇降、調光を 1 本のコード(グリップ)で操作する方式。操作コード(グリップ)を繰り返し引くことでスクリーンが上がり、下げるときはコード(グリップ)を軽く引くと適度な速度で降下する。ツインタイプの場合は、操作棒のグリップを回して昇降(ボトムレール操作)と調光(中間レール操作)を切り替える。グリップ下のコード止めを引いてスクリーンの昇降を行う。ループ状のコードやチェーンがないので、チャイルドセーフティーとしての安全性も兼ね備えている。	昇降、調光をそれぞれ1本のコードで操作する方式。コード(グリップ)を繰り返し引くことでスクリーンが上がり、下げるときはコード(グリップ)を軽く引くと適度な速度で降下する。ループ状のコードやチェーンがないので、チャイルドセーフティーとしての安全性も兼ね備えている。
	180	1 アルミ製ベネシャンブラインドの特性 本文 2 行目	追加	ブラインドの中で最もポピュラーなのが、アルミ製スラットのベネシャンブラインドです。水平ラインが美しい窓装飾エレメントで、ほかのエレメントに比べて納まりがコンパクトであることが特徴です。かつては(後略)	-
	180	1 アルミ製ベネシャンブラインドの特性 本文 9～12 行目	削除	-	ベネシャンブラインドは水平のラインが美しい窓装飾エレメントです。取り付けの際には水平ラインの確認を行います。複数台設置する場合は、ブラインド同士のすき間が均一かどうかとも確認するようにします。
	186	図表 4-131 木製ブラインドの操作方法	項目 追加	ループレス式(スマートコード式) 昇降コードと操作ポールが一体になったタイプ。ポールを回すことで、スラットの角度調整ができる。昇降コードがループ状になっておらず、コード(グリップ)を繰り返し引くことでブラインドが上がり、下げるときはコード(グリップ)を軽く引くと適度な速度で下がる。ループ状のコードがないので、チャイルドセーフティーとしての安全性も兼ね備えている。	-
	186	4 木製スラットの特徴	図 追加	→「図表 4-132 木製スラットのバリエーション」参照(本 PDF ファイル 7 ページ⑦)	-
	192	7 パーチカルブラインドの用途	図 追加	カーブタイプ追加 →「図表 4-143 特殊な窓用のパーチカルブラインド」参照(本 PDF ファイル 7 ページ⑧)	-
	194	図表 4-144 主なチャイルドセーフティー製品 ループレス式(スマートコード式) 対応窓装飾エレメント	追加	ローマンシェード/ロールスクリーン/プリーツスクリーン/ハニカムスクリーン/アルミ製ベネシャンブラインド/木製ブラインド	ローマンシェード/ロールスクリーン/プリーツスクリーン/ハニカムスクリーン/アルミ製ベネシャンブラインド
	198	4 ビニールカーテン 本文	変更	視界を保ったまま間仕切りができるビニールカーテンは、店舗、工場などにおける間仕切り用途のほか、ウイルス対策として、医療機関、商業施設などでも使用されています。	視界を保ったまま間仕切りができるビニールカーテンは、店舗、工場などにおける間仕切り用途のほか、近時のウイルス対策として、医療機関、商業施設などでも使用されています。ビニールシート自体が抗ウイルス機能を有するものもあります。

章	頁	項目	内容	改訂後	改訂前
4 章	205	図表 4-160 主な自主マーク 防災マーク	変更	「消防法施行規則」に基づく防災性試験に合格したカーテン、布製のブラインドおよびアコーディオンドア(塩ビ製含む)、経木・すだれ、じゅうたん等(タイルカーペットを含む)に「防災」マークを表示することができる。防災物品に貼付される日本防災協会の防災ラベルとは異なる。	「消防法施行規則」に基づく防災性試験に合格したカーテン、布製ブラインドおよびカーペットに「防災」マークを表示することができる。防災物品に貼付される日本防災協会の防災ラベルとは異なる。
	206	図表 4-160 主な自主マーク SEK マーク	変更	抗菌加工繊維製品の品質(性能、洗濯耐久性)と安全性についての基準に合格した製品に付けられる。青色は抗菌防臭加工、オレンジ色・赤色は制菌加工、紫色は光触媒抗菌加工、黄色は抗ウイルス加工、緑色は抗かび加工、ピンク色は消臭加工、紺色は防汚加工、紫色/黄色は紫外線遮蔽加工と、色を分けて表示する。	抗菌加工繊維製品の品質(性能、洗濯耐久性)と安全性についての基準に合格した製品に付けられる。青色は抗菌加工、赤・オレンジは制菌加工、紫は光触媒抗菌加工、黄色・黒色は抗ウイルス加工、緑は抗カビ加工と色を分けて表示する。
5 章	231	3 縦使いの要尺計算のまとめ 注釈※15	追加	※15 通常、1 窓につき 0.2m 程度プラスする。	※15 通常、0.2m 程度プラスする。
	243	9 タッセル 本文 9 行目	追加	共布で製作する場合、タッセルの要尺として 1 窓につき 20cm 加えます。	共布で製作する場合、タッセルの要尺として 20cm 加えます。
	259	図表 6-14 繊維の分類	変更・ 削除	合成繊維→その他→[ポリフェニレンサルファイド繊維]を[ポリフェニレンサルファイド]に変更。[アクリレート系繊維]を削除。 植物繊維→麻→亜麻(リネン)を亜麻またはリネンに変更。同じくちよ麻(ラミー)をちよ麻またはラミーに変更。	-
	267	図表 6-23 染色とプリントの種類 インクジェットプリント	変更	パソコン上で作成したデータを生地プリントできる。製版が不要なため手間がかからず、多色使いの表現が可能で、小ロット・短納期に適している。	パソコン上で作成したデータを生地プリントできる。製版が不要なため手間とコストがかからず、多色使いの表現が可能で、小ロット・短納期に適している。
	270	図表 6-27 代表的なシア ーファブリックス ボイル	変更	ポリエステルや綿を平織にした薄い織物。薄地で透過性があるのでシアーカーテンに多用される。色のバリエーションが多く、柄をプリントしたボイルプリントもある。	ポリエステルや綿を平織にした薄い織物。薄地で透過性があるのでシアーカーテンに多用される。色のバリエーションが多く、柄をプリントしたプリントボイルもある。
296	図表 6-52 主なプラスチック系床材	変更	内容変更 →「図表 6-52 主なプラスチック系床材」参照(本 PDF ファイル 8 ページ⑨)	-	

① 「図表 1-5 ウィンドートリートメントの市場規模」

近年のウィンドートリートメントの市場規模（卸売ベース）は下表の通り^{※1}であり、ほぼ横ばいに推移しています。

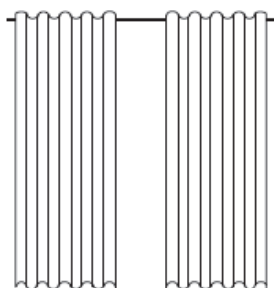
※1 「2022年度のインテリアファブリックス事業の概況<市場規模の策定>」
一般社団法人日本インテリア協会による。

	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)
カーテン	1030.2	996.2	964.3	1018.6
ブラインド類	299.0	296.3	306.1	305.1
スクリーン類	377.5	370.6	365.5	357.8
カーテンレール類	232.4	221.0	217.0	218.5
ウィンドートリートメント合計	1939.1	1884.1	1852.9	1990.0

図表1-5 ウィンドートリートメントの市場規模（卸売ベース）

単位：億円

② 「図表 4-27 ウェーブカーテン」

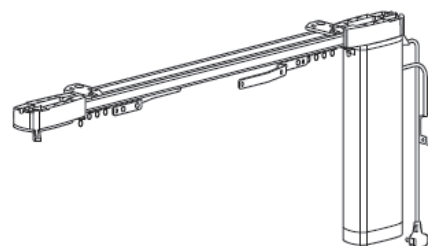


図表4-27 ウェーブカーテン

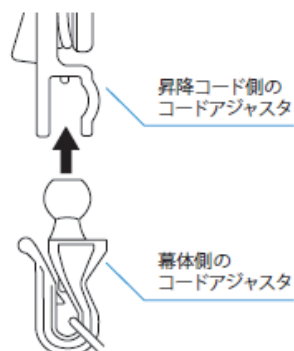
③ 「図表 4-74 機能性カーテンレールの分類」内、
住宅向け機能性カーテンレール→電動レールの模式図

電動レール

電動モーターなどによってカーテンを開閉できるレール。リモコン、タイマー、スイッチ、センサーなどで操作する。また近年では、Wi-Fi環境下においてスマートリモコンなどと組み合わせることで、窓まわりの電動製品もスマートスピーカー、スマートフォンなどで非接触、遠隔での操作が可能になっている。

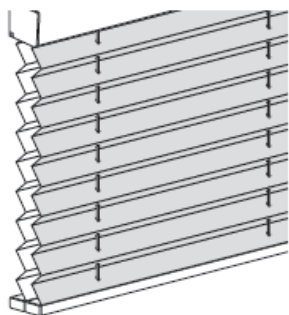


④ 「図表 4-90 シェードの取り外し」内、「分離するタイプのコードアジャスタ」図



分離するタイプのコードアジャスタ

⑤ 「図表 4-104 プリーツスクリーン」内、「ダブルタイプ」「アップダウンタイプ」



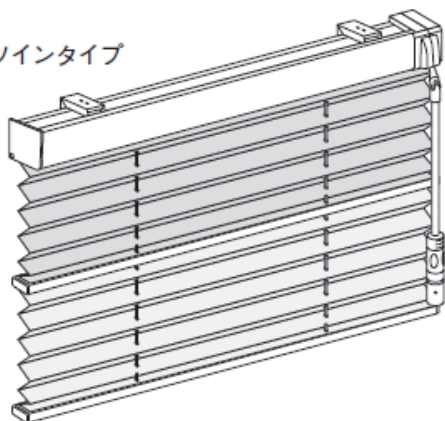
ダブルタイプ



アップダウンタイプ

⑥ 「図表 4-108 プリーツスクリーンの操作方法」内、ループレス式（スマートコード式）ツインタイプ

ツインタイプ



⑦ 「図表 4-132 木製スラットのバリエーション」



波打つようなフォルムのスラット



集成材のスラット

図表4-132 木製スラットのバリエーション

⑧ 「図表 4-143 特殊な窓用のパーティカルブラインド」内、カーブタイプ



カーブタイプ

⑨「図表 6-52 主なプラスチック系床材」

図表6-52 主なプラスチック系床材 (JIS規格に基づく分類)

タイル		記号
コンポジション タイル	塩化ビニル樹脂を主原料として形成された床タイル。バインダー（粘結材）の含有率が30%未満で比較的安価。摩耗しても柄が変わらない。	KT
複層ビニル 床タイル	塩化ビニル樹脂を主原料として形成された床タイル。透明な表層の下にプリントフィルムをラミネートすることで、天然素材にそっくりな表情などさまざまな柄をつくることができる。正方形、大判、板状のものがある。	FT
置敷ビニル 床タイル	塩化ビニル樹脂を主原料として形成された床タイル。二重床等の仕上げで粘着剤を用いて施工を行う、剥離が容易なタイル（厚み4mm以上）。ただし嵌合（かんごう）式のタイルは含まない。	FOA
薄型置敷ビニル 床タイル	塩化ビニル樹脂を主原料として形成された床タイル。二重床等の仕上げで粘着剤を用いて施工を行う、剥離が容易なタイル（厚み4mm以下）。ただし嵌合（かんごう）式のタイルは含まない。	FOB
シート		記号
単層ビニル 床シート	表面から裏面まで全層にわたり単層構造のビニル床シート。全層にわたり模様が持続するため、耐摩耗性能に優れている。	TS
複層ビニル 床シート	充填材を含んだ塩化ビニル層に純度の高い塩化ビニルをラミネート加工したもの。製品の種類も多く、さまざまな機能付加により商業施設、公共施設等多くの建物で採用される。主として中歩行用、重歩行用として使用される。	FS
発泡複層ビニル 床シート	発泡層のあるビニル床シート（密度650KG/m ³ 以上）。衝撃吸収性に優れ、抗菌や耐薬品性等、多様な機能性を備える製品も多く、医療、福祉、介護、学校等の多くの施設で使用される。	HS
クッションフロア	発泡層のあるビニル床シート（密度650KG/m ³ 未満）。厚み1.8mmのものが多い。柔らかくクッション性があり歩行感がよい。主に家庭用として使われる。印刷により、さまざまな柄や天然素材のような表情を出すことができる。階下への衝撃音を防ぐ性能を持たせたものもある。	KS